

今年度、本校は、県教育委員会と日産財団からそれぞれの事業の指定を受け、生徒に学ぶ意義を見出させるとともに、学習のつまづきを解消して、確かな学力を身に付けさせ、夢の実現や未来を担う人材育成へとつなぐ取組を推進しています。

□学力向上のための「つなぐ教育」推進事業

事業推進地域として向陽中学校区がこの指定を受け、本校と山上小学校、八幡小学校、中村第一小学校、飯豊小学校、日立木小学校において「つなぐ」という視点で学力向上についての各校のこれまでの取組を充実させるとともに中学校における課題を共有し、その解決のため共通な取組を展開しています。

- ① 授業参観をとおして中学校入学及び学習に対する意識を高めるための小学6年生の中学校訪問
- ② 小学校5校における「学習のきまり」や授業において根拠を明確にした自分の考えを書く活動の共通実践
- ③ 各小学校の「学習の手引き」に中学校の「学習の手引き」を活用
- ④ 算数・数学の学習内容をよりよく小学生に理解させるための小・中学校教員による連携授業
- ⑤ 長期休業中における中学生が小学生の学習を支援する学習会の実施
- ⑥ 6校PTA連絡協議会による望ましい学習習慣・生活習慣の育成のための家庭学習強化週間・ノーマメディア推進週間の実施

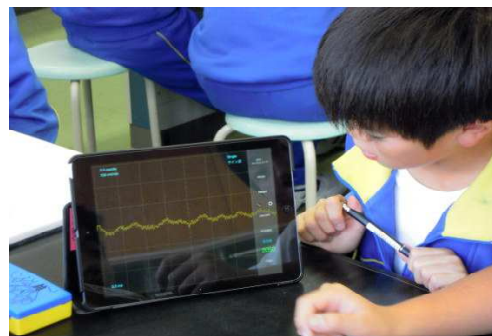
※小学生の感想から

- 算数スキルアップ講座でいろいろな問題に取り組んだり、中学生に教えてもらったり、友達と隣で勉強できたので楽しかった。
- 中学校を訪問して面白そうな授業やしっかり授業を受けている様子を見ることができました。どのクラスも先生の話聞き、しっかり黒板の内容をノートに写して、さすが中学生だなと実感しました。
- 中学校を訪問して、授業のペースが速くて、ついて行けるか不安になってきました。ほとんどの人が真面目に授業を受け、進んで発表していたところがすごかったです。来年がとても楽しみです。

□日産財団 理科教育助成事業

公益財団法人 日産財団は1974年に日産自動車により設立され、以来40年にわたり科学技術振興と人材育成のための助成を行ってきています。このたび本校が平成26・27年度2カ年の助成校の指定を受けました。

助成金40万円でiPadを6台整備し、生徒たちの科学的思考能力を向上させる教育の展開に活用しています。



相馬市立向陽中学校区「つなぐ教育」推進事業

「つなぐ」という視点で学力向上についての各校のこれまでの取組を充実させるとともに中学校における課題を共有し、共通実践が図れるよう連絡調整を密にし、本事業を推進する。

相馬市立向陽中学校区6校PTA連絡協議会
○学校と課題を共有し、学力向上のためのより望ましい学習習慣、生活習慣の育成のための家庭の役割について協議し、各学校の「学びのプラン」等に反映させる。

家庭連携	
<p>向陽中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 全国学力・学習状況調査結果を分析する。 ・中1年の学習習慣・生活習慣の課題の明確化と改善策の策定 ② 学力向上ブランドデザインの取組の中から、連携・協働が可能な部分に視点を絞り、実践する。 ・中1年の各教科指導における課題の解決策に基づく実践 ③ 小中連携による授業研究会を実施する。 ・わかるできる授業や思考力・判断力表現力を高める授業の展開 ・テレビ会議システムを活用した授業研究や交流授業 ・コアティーチャーの活用(算数・数学) ・小・中教員の授業交流(算数・数学、外国語活動等) ④ 小・中教員、保護者の共通理解のもと望ましい学習習慣・生活習慣の育成に向けた取組を行う。 ・「学習の手引き」「家庭学習の手引き」等の作成 ・ノーマメディア等推進 ・「学ぶ意義」について意識化を図る教育講演会の実施 ⑤ 地域連携学習会(小中連携)を開催する。 ・長期休業中における中学生が小学生の学習を支援する学習会の実施 	<p>山上小学校・八幡小学校 中村第一小学校・飯豊小学校 日立木小学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 全国学力・学習状況調査結果を分析する。 ・中1年の学習習慣・生活習慣の課題の明確化と改善策の策定 ② 学力向上ブランドデザインの取組の中から、連携・協働が可能な部分に視点を絞り、実践する。 ・中1年の各教科指導における課題の解決策に基づく実践 ③ 小中連携、小中連携による授業研究会を実施する。 ・わかるできる授業や思考力・判断力表現力を高める授業の展開 ・テレビ会議システムを活用した授業研究や交流授業 ・コアティーチャーの活用(算数・数学) ・小・中教員の授業交流(算数・数学、外国語活動等) ④ 小・中教員、保護者の共通理解のもと望ましい学習習慣・生活習慣の育成に向けた取組を行う。 ・「学習の手引き」「家庭学習の手引き」等の作成 ・ノーマメディア等推進 ・「学ぶ意義」について意識化を図る教育講演会の実施 ⑤ 地域連携学習会(小中連携)を開催する。 ・長期休業中における中学生が小学生の学習を支援する学習会の実施
<p>推進委員会 小学校：校長、教頭、6年担任 中学校：校長、教頭、1学年主任 研修主任、生徒指導主事</p>	
地域連携	
<p>○ キャリア教育の観点から連携地域講演会等を開催したり、相馬市学校支援地域本部の積極的な活用を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒対象に学ぶ意義を認識させたり、夢実現への努力を促す指導 ・中学校2学年で職場体験実施 	